



第36号（平成29年6月発行）
 印刷・発行 越前市図書館友の会
 〒915-0832
 越前市高瀬二丁目7-24（越前市中央
 図書館内） 電話：0778-22-0354
 tomonokai@lib-ci-yechizen.jp

友の会だより

友の会からのお知らせ

文化財講演会のお知らせ

『越前の文化財について』
 講師 越前市市史編さん室
 小林 博之室長

まず、堅い話として、文化財とは？
 という基本的な話と指定文化財のしくみ
 を紹介。

その後、実際に越前市にある様々な
 文化財の一部を紹介します。内容は、平
 成28年6月に発行した『文化財からみる
 越前市の歴史文化図鑑』から解説しま
 す。

また、スライドなどで、最近の越前市
 役所近辺の発掘状況についても分かりや
 すく説明いたします。

- ・日時 6月10日(土)
- ・午後2時～3時30分
- ・場所 越前市中央図書館学習支援室

骨董講座のお知らせ

講師 三田村善衛の夏期骨董講座
 『どうなる、今後の古美術・古書業界？』
 骨董屋さんや古本屋さんで街から姿を
 消しつつあります。一体、どうしたらよ
 いのでしょうか？

- ・日時 8月12日(土)
- ・午後2時～3時30分
- ・場所 越前市中央図書館学習支援室

図書館からのお知らせ

※ご迷惑をおかけします。

- 中央図書館周辺の整備工事
 中央公園複合施設整備工事、及び市
 民の広場整備工事の開始に伴い、中ホー
 ル跡地に仮囲いが設置されます。図書
 館への通行が一部制限される場合があ
 りますので、ご注意ください。
- 今立図書館周辺の整備工事
 複合施設（今立総合支所）建設工事
 のため、駐車場が大変少なくなります。
 バスなどの公共交通機関や、いまだて
 芸術館、今立総合支所の駐車場をご利
 用下さい。

○特集展示コーナー

- 【中央図書館】一般
 - ・お茶の時間ですよ
 - ・のんびり ゆったり リラックス
 - ・越前市ゆかりの古典 万葉集・源氏物語
- 【中央図書館】ティーンズ
 - ・古典はおもしろい
- 【中央図書館】児童
 - ・教えて！図鑑さん
- 【今立図書館】一般
 - ・いまだての祭り 第2部 花筐地区
- 【今立図書館】児童
 - ・あめ

花の隠居生活

三田村 善衛

隠居生活の最大の利点は、時間に左右されないことがまず挙げられる。毎日が日曜日、カレンダーの数字はすべて赤。重ねて言うが、これほどの快挙は、ない。あの、あこがれの猫さまのように朝寝昼寝は自由自在、もちろん夜更かしも誰も文句を言わない。今日したくないことは明日にしても大丈夫なのだ。あさつてもいい。

サラリーマン時代は、それこそ毎日が時間に縛られていたし、規則・規律にも身動きが取れないくらい拘束されていた。さらには人間関係や、あらゆるヒエラルキーにもウンザリの日々だった。それでもみんな笑顔で頑張っていた。まさに屈辱の日々。がしかし、隠居生活にはそれはない。スピード違反の警察や、税務署には多少の怖さは感ずるものの、毎日はずっとに健やかだし、快適なものである。土砂降りや猛吹雪の朝だって、出勤がないわけだから、むしろ

る風雅すら感ずる。穏やかな、ゆとりの毎日は、大袈裟に言えば本来の人間性の復活であり、この世のあらゆる喜怒哀楽をも超越した、まさしく仙境に身をおくような思いがする。

例えばある日、レコードを買いに下北沢まで行きたいなあ、と思ったりする。普通なら新幹線で日帰りコースだろうか。ところが隠居爺さんは、飲み物やお菓子をたくさん車に詰め込んで、ブラリと出かける。しかも高速道路などは利用しない。まずは戸ノ口から大野へ、さらに九頭龍ダムを見ながら郡上八幡に抜ける。そして松本から甲州街道で江戸を目指すのである。

隠居生活はこんな無茶な行為も許されるのだ。だって、帰宅するのはいつだってよいし、慌てる必要もいっさい、ない。途中、蕎麦屋に入ろうが、草餅を食べようが、これまた自由自在。面白そうな骨董屋や古着屋があれば、とことん楽しめばよい。眠くなれば車内でうたた寝。道の駅やコンビニはあるし、携帯電話、充電器、キャッシュカードがあれば何の心配もない。ヒマがあれば、味気ない有料道路をわざと避けて、地獄の安房峠を走破するのも楽しい。

こーゆー冒険ができるのも隠居生活だからこそだろう。時間に縛られないというのは、いかに素晴らしいかをいつかあなたも体験できるはずだ。都内でわんさかレコードや古書を買って帰るにつく。時間に支配されるのではなく、逆に時間を支配する。これぞ花の隠居生活の極意！

ビフテキやウナギを喰うのだけが贅沢なわけではない。新緑の山々を眺めながらきつねうどんをのんびりと食するのが本当の贅沢かも知れない。帰りは長野から新潟へ抜けるのも粋である。日本海の荒波を楽しみながら南下するコースもこれもまた風流でありんす。ああ、隠居生活は最高だ。

(つづく)

『七十二歳の卒業制作
学ぶこと、書くこと、生きること』



田村 せい子/著

出版:福音館書店 2016.5.18

今月のお勧め本

特集 「お茶の時間ですよ」から

新茶の季節がやってきました。日本茶、中国茶、紅茶などお茶の種類もいろいろ、楽しみ方もいろいろあります。今回の特集では、お茶の図鑑から、お茶の読み物、お茶のお供、レシピなど様々なジャンルから本をご用意しました。

その中から紹介するのは『日本茶のすべてがわかる本』。その名のとおりお茶の種類・成分、美味しい淹れ方・飲み方、製法、健康効果歴史・文化など日本茶のすばらしさを再認識させてくれる1冊となっています。日本茶検定の公式テキストにもなっており、写真や図が使われた、たいへん読みやすい内容です。日本茶のことを深く知りたいけど難しい本は苦手という方にもお勧めです。これからのお茶ライフが広がること、間違いなしです！(K、H)

『日本茶のすべてがわかる本』



NPO法人日本茶インストラクター協会 企画・編集 日本茶検定委員会
監修 出版：NPO法人日本茶インストラクター協会 2008年11月

特集 「のんびりゆったりリラックス」から

この春から学校や会社など新しい生活が始まり、慣れない環境での疲れがたまってきた方も多いのではないのでしょうか？今回の展示では、そんな疲れを少しでも取ることができるよう、多種多様なリラククス方法のヒントになる本を集めてみました。

その中でも今回ご紹介する本は、家でゆっくり過ごしたい！という場合にオススメの『お風呂の達人』です。本書では、例えば「目が疲れているときは？」、「ランニングの後は？」といったように、目的別に具体的な入浴方法が紹介されています。また、お風呂には欠かせない「入浴剤」についても、色や効能、さらにはその誕生秘話など、色々な角度から書かれています。読んでいると、何だかお風呂に入りたくなってしまう1冊です。ぜひご覧下さい。(K、K)

『お風呂の達人』



石川 泰弘/著
出版：草思社
2011年2月

文化施設行事等案内

くつろぎサロン

～越前市ゆかりの古典文学～

第2期 『万葉集にふれる』

・講師 三好修一郎先生(武生公会堂記念館館長)
・内容

① 7月7日 万葉に詠われた丹生の山辺

② 7月21日 万葉に詠われた日野川

③ 8月4日 万葉に詠われた味真野の悲恋①

④ 8月18日 万葉に詠われた味真野の悲恋②

・時間 午前10時から11時45分まで(休憩15分)

・定員 20名(事前申込・参加無料)

(定員になり次第締め切りとなります)

・会場 武生公会堂記念館2階貴賓室

【関連本の紹介】

『万葉の旅 北陸道』(行路文芸社)

『万葉こころの風景』(和泉書院)

『万葉こころの風景』



山内 英正/著
出版：和泉書院
2011年7月

真柄甚松先生の講演会のアンケート
結果報告 平成29年5月13日(土)

【演題】

『「大文字屋」と金沢藩について』

「関係性がよくわかりました。武生には、金森家、前田家、浅井家等の末裔がいらっしやるそうで、古文書なども多数あると思います。事故や火事等でなくならないよう武生で管理してほしいと思います」

「講演を聞きながら歴史の流れを感じ学ぶことができました。武生の町のお寺や道などこれからよりいっそう深く味わいながら生活できそうです」

「武生浅井家と金沢のつながりの奥深さを知ることができた。改めて浅井永記録を読み返したい」

「金沢藩と府中の関係がよく分かって楽しかった」

「大変参考になりました。定期的に郷土史の講演企画を期待しています」

「武生のまちづくりのキーワードとして武生に
関係ある歴史上の人物を大切に。活かすことが重要。これが武生にしかないことである。
今のまちづくり、市政に中核となるものがない」

「これまで断片的な知識だけだったが、今日ようやく話がつながった事です。感謝します」

「身近な歴史を講演していただき、非常に興味深かった。非常に良かったと思います」

「とても興味深いお話で楽しい一時でした」

「武生に由来する偉人の歴史を随時講習願いたい」

「歴史のはなしがいろいろ聞けておもしろかったです」

「武生のおいたち理解できた」

「歴史の裏事情が分かり興味深かった」

「郷土色のあるお話は大変貴重。続けてほしい」

「このような機会をお願い致します」

「大変興味深い話でした」

「話の根拠は」？「それについてもふれてほしい」

「たいへん武生歴史がわかってよかったです」

「勉強になりました。感謝します」

「とても興味深く聞けた」

「大変興味深く伺うことが出来ました」

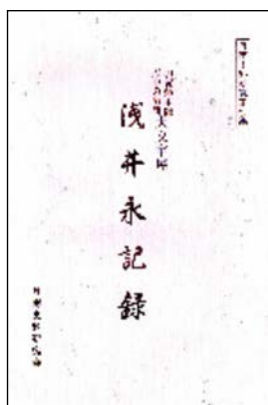
「もう一度お聞きしたいです」

「大変参考になりました」

「おもしろかった」

会員ら61人が聴講。

『加賀本陣・府中の
豪商大文字屋
浅井永記録』



出版：丹南史料研究会/著
平成14.12.25



図書館友の会会員募集中

年会費500円(会の運営に充てさせていただきます)
きます) カウンターへ申し込んでください。

編集後記

▼友の会の会報は、講演会などがある秋頃までは、毎月の発行を予定しております。冬季から初春までは、臨時的な発行はあるかも知れませんが、一応は長い冬休みになる予定です。よろしくお願い致します。(三田村)

▼今年初めての真柄甚松先生の講演会には、多くの方が聴講していただきましてありがとうございます。次回の講演会もよろしくお願いたします。(村上)